

平成29年度第1回（英語・法律・政治・国際関係・コミュニケーション関係学）分野連携グループ合同会議議事概要  
（英語教育・法律学）教育FD/ICT活用研究委員会  
CCC（政治学・国際関係学・コミュニケーション関係学）グループ運営委員会

- I. 日時 : 平成29年8月7日（月）13:30～15:30
- II. 場所 : 私学会館（アルカディア市ヶ谷）5階 大雪西
- III. 出席者 : 英語教育FD/ICT活用研究委員会 田中委員長、松村委員、吉田委員、原田委員  
法律学教育FD/ICT活用研究委員会 加賀山委員長、執行委員、中村委員、高嵩委員、  
笠原委員  
CCC政治学グループ運営委員会 平野委員、川島委員、昇委員、名取委員  
CCC国際関係学グループ運営委員会 林委員、佐渡友委員  
CCCコミュニケーション関係学グループ運営委員会 鈴木委員  
事務局 井端事務局長、森下主幹、中村事務局員

IV. 委員紹介

5分野の出席委員から自己紹介が行われた。

V. 報告・検討の概要

1. 昨年度の対話集会について報告

事務局より、昨年度の事業について事業報告書をもとに以下のように報告された。

平成28年度は、30分野を7グループに編成し、分野が連携する中で知識を組み合わせ新しい発想を育成する分野横断型のアクティブ・ラーニングの必要性を提案したが、否定的な意見はないものの教員に積極的な関心が見られなかった。

個別授業でのアクティブ・ラーニングは進んできているが、次の段階として解のない問題を自ら見出し、既成概念に囚われることなく解決に向けて自分の考えを持って新たな課題に挑戦する力を培う分野横断型の学びの仕組みについて深く議論するまでには至らなかった。また、ディプロマポリシーを実現する教学マネジメントとしての学位プログラムへの理解についても授業内容可視化の理解に留まり、授業科目の調整・統合など踏み込んだ議論が見られなかった。

2. 平成29年度の対話集会について

昨年度の対話集会の内容及び「私立大学教員の授業改善調査」の集計結果では、アクティブ・ラーニングの取り組みは緒についたばかりであり、大半は「個別授業」での「講義との組み合わせ」による「知識の定着・確認」となっている。

そこで、本年度のアクティブ・ラーニング対話集会では、個別授業における教育・学修方法の工夫・改善にICTをどのように活用して「学力の3要素」の向上を図るかを中心に実践事例や授業改善の提案を行うことにし、知識を組み合わせ新しい発想を育成する分野横断型の学びについては、医療系・法律系・会計系分野で取り組んでいる詳細モデルを報告することで改めて理解の共有を進めることにする。

学力の向上に関連して学修到達度の質保証を厳格化するICT活用の仕組みが期待されていることから、大学間連携による分野別外部評価モデルの検討も合わせて行いたい。

このことを踏まえ、本年度は、以下の視点を中心に対話集会を展開することにしたい。

- 一つは、個別授業における工夫・改善を図るため、ICTを活用した教育改善の在り方を中心に探求する。具体的には、学力の3要素を的確に身に付けられるよう「十分な知識・技術」、批判的・論理的・創造的な「思考力」、合理的な「判断力」、他者の立場を理解した上で自分の考えを正確に伝える「表現力」と「主体性・多様性・協働性」の向上・発展に効果的な教育改善モデルの紹介、ICTを活用した教育改善の実践事例を踏まえてアクティブ・ラーニングの教育・学修方法を探求する。
- 二つは、ディプロマポリシーの達成度を測定する仕組みとして、本協会が提案しているICTを活用した口頭試問等による外部評価試験の必要性和大学連携コンソーシアムの仕組みについて理解の共有を図り、教育の質保証を確保するアセスメントモデルの実現に向けた議論を展開する。

- ・ 三つは、学位プログラムへの転換を促進・理解するため、授業の可視化、学修成果の可視化など授業情報を共有化する中で、授業科目の相互改善に結びつける仕組みについて e シラバス、e ポートフォリオなどの活用について理解を深める。
3. 本年度の対話集会の進め方  
今年度は昨年度より 30 分増やし、話題提供 1 時間半、意見交換 2 時間の 3 時間半で開催する。話題提供としては、資料③にあるように以下の項目(\*)も参考に本日の合同会議で検討したい。
- ※ ICT を活用した「学力の 3 要素」を高める教育改善モデル
  - ※ ICT を活用した大人数の双方向授業、事前・事後学修、反転授業、地域連携授業などの実践事例
  - ※ モバイルを活用したアクティブ・ラーニング
  - ※ ICT を活用したアクティブ・ラーニング達成度の測定方法
  - ※ e シラバス、e ポートフォリオなどを活用した授業の可視化、学修成果の可視化
  - ※ 授業改善をオープンに議論するポータルサイトの活用など
4. 意見交流のテーマについて  
資料③に例として挙げた以下の項目(※)も参考に 2 件か 3 件を本日の会議で検討し第 2 回委員会で確定したい。
- ※ 「学力の 3 要素」を高める ICT 活用教育又は双方向授業、事前・事後学修、反転授業、地域連携授業の ICT 活用の効果と課題
  - ※ ICT による外部評価試験システムの必要性
  - ※ 授業科目の相互改善を促進するオープンな議論の必要性和 ICT 活用
5. スケジュール
- ※ 第 1 回合同会議 (7 月～8 月)
    - ・ 話題提供候補の検討
    - ・ 意見交流のテーマ検討
    - ・ ICT による外部評価試験システムの必要性の検討
    - ・ 対話集会の開催日時・場所の検討
  - ※ 第 2 回合同会議 (10 月)
    - ・ 開催要項の確定
    - ・ 話題提供者の確定
    - ・ 意見交流のテーマ確定
    - ・ 開催日時・場所の決定
    - ・ 運営シナリオの検討と役割分担
  - ※ 対話集会 (12 月)  
以上の説明後、各分野ごとに「教育改善モデル」「実践事例」「話題提供」等について検討を行った。
6. 話題提供候補の検討  
司会の田中委員から検討結果を求め、各分野から話題提供候補の「仮タイトル名」、「話題提供の概要」等について報告された。

#### 法律学委員会

- ① 仮題「ICT を活用したフォーラム型授業モデル」
- ・ ネット上にフォーラムを作り、複数分野の教員が参加して学生に議論させる分野横断型授業
  - ・ 全 15 回の授業において 3 コマ単位で法律と他分野が絡む問題を取り上げ、3 コマの前後にネット上でのフォーラム議論を義務付ける授業モデル
  - ・ すべてを一人の教員が担う授業の弱点を補い、具体的な事実から理論へ繋げるボトムアップ式の教育を提案

## 英語学委員会

- ① 仮題「コミュニケーションを生かすための英語力」
  - ・対話力、説得力と言ったコミュニケーション力を高めながら学生に必要な英語力を提示する
  - ・学生同士の対話によるコミュニケーション能力の評価
- ② 仮題「専門教育を英語でどのように教育していくか」

## 政治学委員会

具体的な話題提供候補の「テーマ」「概要」は挙げられなかったが、以下の意見が出された。

- ・これまでの政治学的概念や枠組みで説明できない現象に対するアクティブ・ラーニングでは、学生と教員が一緒に考えなければならない。
- ・学生の評価について政治学の基本概念の振り返りと併せ総合的にすることが必要。

## 国際関係学委員会

- ① 仮題「学生の想像力を引き出す教育改善モデルの実践提案」(創価大学 林委員)  
映像資料を見せることで自己との関連を気づかせ、学生同士の議論や課題に主体的に取り組む姿勢を育む教育改善に3D、VRなどの新しい手法を取り入れることは、国際関係学においては学生の想像力を引き出す効果があり重要。

## コミュニケーション関係学委員会

- ① 仮題「大学でのICT活用授業の現状についての報告」(常磐大学 北根精美委員)
  - ・基礎英語、アカデミックスキル教育、情報教育、自学自習にeラーニングを活用している
  - ・授業へのタブレット導入を計画しており、演習形式授業においてレジュメや参考データの共有利用を予定している
  - ・蓄積される学習ログや、学外関係者と学生との共同作業においてICTを有効に取り入れる仕組みや場づくりを議論したい
- ② 仮題「異文化コミュニケーション協働学修の実践紹介」(早稲田大学 鈴木利彦委員)
  - ・ICTやLMSを活用し、海外の大学とのグローバルコミュニケーションを行うことで、学生には事前学修の姿勢や気づきをもたらし、対人関係構築の学びを育むことに繋がったアクティブ・ラーニングの実践紹介。

各分野の委員や事務局より：

- ・話題提供は、(1)法律、(2)英語＋コミュニケーション関係学、(3)政治＋国際関係学の3本とし話題提供で1時間30分、意見交流2時間としてはどうか
- ・次回、話題提供を確定させるうえで事前に話題提供のタイトルと概要を提出いただきたい。
- ・事前にグループで話題提供をすり合わせず、各分野から出してもらい次回会議で決定しても良い。
- ・対話集会には学生も参加させることを考えて欲しい。

## VI. 対話集会の開催日時、場所についてほか

5分野の委員に諮った結果

- ・対話集会は12月23日(土)14時～17時30分 (委員事前打合せは13時)  
会場は、早稲田大学を予定することとなった。
- ・次回(第2回合同会議)は、10月29日(日)15:00～17:00 私学会館にて開催することとなった。